

AED を桜台会館に 24 時間どなたでも救急救命に利用できるよう無施錠にしてあります。

が、スタンドパイプ（消火栓に直接接続し、消火放水が出来る装置）も必要な時に短時間に初期消火活動が出来る環境を作りました。具体的には道路にある消火栓の近くに誰でも初期消火活動を可能にします。現在、町内に数多く設置してある消火器と共に火災発生から短時間での初期消火効果を高める事を目的としています。但し、救命活動と初期消火活動は消防車が到着するまでの活動である事は申すまでも有りません。スタンドパイプは設置場所を練馬消防署と最終相談の上、住民の理解とご協力が得られた所に設置しました。安全な町を目指して一歩前進しました。



訓練用機材

訓練用 AED、人体モデル 12 体

消火器（クンレンダー） 2 本

スタンドパイプ 4セット 防災倉庫に 2セット、2セットは街角に無施錠で設置し、緊急時は使用自由にしてあります。

初期消火訓練

民家の火災発生時刻は事前に数名に伝え集合し、段取りの説明は一切行わず、“火事だー”を合図に近くに居る操作可能者2名に消火指示を出しました。スタンドパイプは火災発生場所から約100m離れた2か所ですが、指示された2名は設置場所へ走ると同時に見学者・通行人に協力要請しつつ、操作指示を出しながら消火活動を行いました。



火災発生



標的：火災発生場所



水消火器にて初期消火



ホース延長に混乱



一基放水開始



消火！放水やめ

実際に民家の火災発生を想定しての初期消火訓練を行い、貴重な体験をしました。

消火作業は二人のリーダーシップで殆どが一般人の協力で実施しましたが、協力者が機敏に機能しなかったことが明確にわかりました。ホースの延長操作、ホースのつなぎ方、筒先の開け方等々個別の基本訓練を重ね100m離れていても2-3分で放水出来るように多くの課題を見出したことと100m延長しても放水能力十分にあることの確認が収穫でした。